

# 省人化機器の実証施設 低温環境で導入加速



「人手不足に対応できる仕組みを構築したい」と福井社長

ニチレイグループなどに、都内の物流センター本社(本社・東京、福井)内に最先端機器の実証施設(和訓社長)は12月中をめ

動化機器の実証を進め、現場への導入スピードを加速する。ニチレイは近年、10日のニチレイグループ社長会見で福井社長が説明した。R&Dセンター設立は、車内作業の生産性を高め、労働力不足に対応することが目的。現在一部で進める自動化について、2030年ま

でい入庫から出庫まで行える体制をつくる。ニチレイは近年、10日のニチレイグループ社長会見で福井社長が説明した。R&Dセンター設立は、車内作業の生産性を高め、労働力不足に対応することが目的。現在一部で進める自動化について、2030年ま

から九州まで輸送エリアを拡大。今年度末までに自社トレーラーを50台に増やし、東名阪を中心に幹線輸送をトレーラー化する。他の拠点にも展開していく(福井社長)。

富士通デジタコで位置情報取得(ドコマップ)

## ランス 運転手の意思疎通密に 荷主ごとの注意点共有

食品や機械輸送を手掛ける聖巨トランスネットに、11月16日の安全会議から、ドライバー22人を担当荷主ごと7チームに分け、チームから1人ずつ、各月1回の安全会議で注

同じ時間帯に同じ最先端機器の実証を進め、現場への導入スピードを加速する。ニチレイは近年、10日のニチレイグループ社長会見で福井社長が説明した。R&Dセンター設立は、車内作業の生産性を高め、労働力不足に対応することが目的。現在一部で進める自動化について、2030年ま

を配布しながら、声掛けを実施。ドライバーや現場作業員の安全意識の醸成を図った。安全と品質向上を目的とした声掛け活動は初。同日、篠山社長は東洋製

から九州まで輸送エリアを拡大。今年度末までに自社トレーラーを50台に増やし、東名阪を中心に幹線輸送をトレーラー化する。他の拠点にも展開していく(福井社長)。

富士通デジタコで位置情報取得(ドコマップ)

## 全国で安全声掛け活動 東洋メビウスリーフレットも配布

東洋メビウス(本社・東京、篠山健司社長)は10日、「みなさまの安全活動」を行った。本社長職などが全国12事業所を訪れ、安全のポイント

を配布しながら、声掛けを実施。ドライバーや現場作業員の安全意識の醸成を図った。安全と品質向上を目的とした声掛け活動は初。同日、篠山社長は東洋製

から九州まで輸送エリアを拡大。今年度末までに自社トレーラーを50台に増やし、東名阪を中心に幹線輸送をトレーラー化する。他の拠点にも展開していく(福井社長)。

富士通デジタコで位置情報取得(ドコマップ)

## EVトラックを1台運用 脱炭素に向け、県内初

ラニイ福井貨物(本社・福井市、藤尾秀樹社長)は10日、三菱ふそうトラック・バスの小型電気トラック1台の運用を開始するとともに、今月中にトラックターミナルに設置した太陽光発電の稼働を始める。

部にはEVを運転する大島貴子さんの3人の子どもが描いた絵をラッピング。大島さんは「わが子が書いた作品とともに、70枚を設置した。今年度削減できる」としている。(遠藤 仁志)

から九州まで輸送エリアを拡大。今年度末までに自社トレーラーを50台に増やし、東名阪を中心に幹線輸送をトレーラー化する。他の拠点にも展開していく(福井社長)。

富士通デジタコで位置情報取得(ドコマップ)

富士通デジタコで位置情報取得(ドコマップ)



福井市中心部で運用されるEVトラック(左が藤尾社長、右が担当ドライバーの大島さん)



「パレットの販売」が自動倉庫が増える

正物流統合効率化法施行を受け、荷待ち・荷役時間削減に向けて「パレット自動倉庫」の導入が期待されている。改正物流法では荷主・物流企業に荷待ち・荷役時間を合計2時間以内にするのが求められる。だが、国土交通省が2020年度に実施した実態調査では、1連行の荷待ち・荷役が合計約3時間



篠山社長らがドライバーにリーフレットを配布し安全を啓発した

また、イラストと写真を使って安全のポイントを解説した。3500部を用意し、各事業所だけでなく、関係会社に配布することも検討する。

## 熊倉 豊田自動織機理事 「自動倉庫市場は拡大」 3PL協会で講演

豊田自動織機(本社・愛知県刈谷市)の熊倉孝

改正物流法では荷主・物流企業に荷待ち・荷役時間を合計2時間以内にするのが求められる。だが、国土交通省が2020年度に実施した実態調査では、1連行の荷待ち・荷役が合計約3時間

富士通デジタコで位置情報取得(ドコマップ)